

まごめ園

令和2年度事業報告

1. 運営方針

- ・ 地域社会に開かれた施設づくり
- ・ 自律した豊かな地域生活の基盤づくり
- ・ 社会参加活動の拡充

2. 職員等配置（実績）

職員 22 名（兼務 3 名、就労継続支援 B 型 7 名、生活介護 12 名）・非常勤職員 7 名（就労継続支援 B 型 4 名、生活介護 3 名）・嘱託医 2 名 合計 31 名

3. 今年度の重点目標に対する取り組み状況

法人重点推進事項			(1) 質の高い支援（虐待防止、権利擁護）	回数・日	
			(4) 既存事業の機能強化	付	人数
1	一人一人が力を発揮できる環境の提供	内容	<ul style="list-style-type: none">● 生産活動と販売機会の充実に向けた取り組み<ul style="list-style-type: none">・ 生活介護で新規商品としてポチ袋（牛乳パックリサイクル）を販売開始・ 就労継続支援 B 型でプリントクッキー販売開始・ 新型コロナウイルス感染症予防対策のためイベント販売機会が大幅に減少。感染状況に応じて特別ふれんどのみ職員が出店した。● 高齢化・重度化による多様なニーズへの対応<ul style="list-style-type: none">・ 生活介護で介護保険併用利用者の送迎支援・ 食前の口腔体操、むせ記録の継続実施。食事場面の環境設定と併せて誤嚥事故防止に繋がっている。● 生活介護、就労継続支援 B 型機能の相互活用<ul style="list-style-type: none">・ 生活介護、就労継続支援 B 型両事業合同で園長・主任層会議を実施。事業推進、利用者支援、職員研修、事業所課題等について共有・検討・推進・ 朝夕礼での両事業情報共有● 利用者の主体性を尊重した支援<ul style="list-style-type: none">・ 利用者の理解に合わせた可視化ツールやワークシステムを活用し、自主的に過ごせる	8 月	
				10 月	
				11 回	
				141 回	対象 2 名
				毎日	7 名
				12 回	
				毎日	
				通年	

			場面増に向けた取り組み実施 ・ 個別支援計画上期モニタリング ・ 個別支援計画下期モニタリング		68名 63名
法人重点推進事項			(2) 活力ある組織・経営基盤づくり (3) 地域公益活動の推進	<u>回数・日</u>	
				<u>付</u>	<u>人数</u>
2	地域貢献と社会参加の取り組み強化	内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 第27回まごめ幸陽祭の開催（実行委員会形式） <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症予防対策のため、実行委員と協議の上、中止 ● 地域イベント等への参加・協力、地域交流を通じた社会参加の機会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症予防対策のため、イベント外販中止 ・ 貝塚町会回覧物（区報等）の帳合い作業、感染症対策啓発活動の仕分け作業受託 ● 地域への設備・物品貸出し <ul style="list-style-type: none"> ・ 貝塚町会定例会議会場として食堂を貸出 ● 施設公開 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症対策の上、個別に見学対応 ● ボランティア、実習生の積極的な受け入れ <ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア：新型コロナウイルス感染症予防対策のため、受入中止 ・ 実習生（社会福祉士、保育士） ・ 特別支援学校・施設間異動希望者実習 ・ 人事院：新型コロナウイルス感染症対策のため中止 ・ 介護等体験 	0回 10回、1回 3回 7回 0回 2回 9回	0名 2名 9名 0名 3名
法人重点推進事項			(2) 活力ある組織・経営基盤づくり (4) 既存事業の機能強化	<u>回数・日</u>	
				<u>付</u>	<u>人数</u>
3	関係機関との連携強化	内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域への設備・物品貸出し <ul style="list-style-type: none"> ・ 貝塚町会定例会議会場として食堂を貸出 ● 利用者の主体性を尊重した多様なニーズへの対応として相談支援、地域生活支援、介護事業等との連携 ● 地域力推進馬込地区委員会、地域防災会議等への参加 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症予防対策のため中止及び書面会議 	3回 通年	68名
法人重点推進事項			(1) 質の高い支援（虐待防止、権利擁護）	<u>回数・日</u>	<u>人数</u>

(5) 福祉人材の確保・育成・定着				付	
4	専門性の向上	内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 内部研修の定期開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ サービス提供ガイドライン取組強化項目に合わせて内部研修実施。 ・ 虐待防止・権利擁護研修 ・ 感染症対策研修 ・ 手洗い講座 ・ 防災研修 ● 外部研修受講 ● OJT 推進→法人 OJT ガイドラインに沿って実施。 	4回	全職員
				3回	全職員
				2回	全職員
				1回	全職員
				9回	10名
					1名

4, 利用者受入等・平均工賃 *日数・%等は前年同期比

	定員	開所日数	平均利用者数	稼働率		利用率	
就継 B 型	37名	238日(+3日)	32.8名	88.5%	-4.1%	83.8%	-2.2%
生活介護	25名	238日(+3日)	21.2名	84.5%	+0.6%	84.4%	-3.7%
就継 B 型	平均工賃月額		20,116円	前年度 20,840円		-724円	
生活介護	年間作業売上金の分配		2,200円	前年度 2,000円		+200円(年度末に分配)	

※ 平均利用者数＝全利用者の年間延利用日数÷開所日数（小数点第2位以下切り上げ）。

※ 稼働率＝年間利用者延べ数÷（定員×開所日数）

※ 利用率＝年間利用者延べ数÷（在籍数×開所日数）

5, 年間行事（実績）

4月	入所式(2日)
5月	
6月	合同防災訓練*、外出訓練(生活介護)*
7月	外出訓練(就労継続支援 B 型)*
8月	納涼会(利用者自治会企画)*
9月	第27回まごめ幸陽祭*
10月	しょうがい者の日のつどい、宿泊訓練(就労継続支援 B 型)*
11月	宿泊訓練(生活介護)*
12月	忘年会(自治会企画)*
1月	成人を祝う会 外出訓練(生活介護)*
2月	
3月	納会(自治会企画)*

* 新型コロナウイルス感染症対策のため中止

6, 権利擁護・虐待防止の取り組み

* 平成31年3月の「障害者虐待防止特別委員会答申書」に基づく取り組み
「虐待防止に向けた体制づくりと組織の取り組み・仕組み等の活性化」

	実施項目	具体的取組	回数・日付	人数
1	虐待防止 権利擁護	<ul style="list-style-type: none"> *徹底した現場主義に基づく事例検討の実施 *「法人サービス利用者の権利擁護規程」「社会福祉法人大田幸陽会サービス提供ガイドライン」等を踏まえた支援 *「虐待防止対応要綱」に基づく法人および事業所虐待防止・人権委員会の取り組みの推進 	3回	68名
2	苦情解決	<ul style="list-style-type: none"> 「苦情解決制度に関する要綱」に基づいて対応。 *利用者家族より、新型コロナウイルス感染症予防対策における職員対応について苦情あり謝罪。 	4月	
3	個人情報保護	「個人情報保護規程」および「特定個人情報規程」に基づいて適切に対応	通年	

7. 人材確保・育成とサービスの質向上の取り組み・研修(*事業所実績)

目的：ライフステージに合わせた質の高いサービス提供

*平成31年3月の「障害者虐待防止特別委員会答申書」に基づく取り組み
「専門性に基づく支援のスーパーバイザー育成」

	実施項目	具体的取組	回数・日付	人数
1	OJT・職場内研修	<ul style="list-style-type: none"> 虐待防止・権利擁護に関する研修 法令遵守関係(就業規則・サービス提供ガイドライン等) 感染症予防対策としての手洗い講座 法人共通ガイドラインに沿った新任職員OJT実施。 	1回 1回 1回 1回	全職員 全職員 全職員 1名
2	外部研修	<ul style="list-style-type: none"> 【大田区障がい者総合サポートセンター】 虐待防止法研修 【一般社団法人東京都食品衛生協会主催】 食品衛生責任者養成講習会 以下、オンライン研修 【東京都障害者通所活動施設職員研修会】 高齢の知的障害者の支援 【公益財団法人東京都福祉保健財団】 東京都障害者虐待防止・権利擁護研修 相談支援従事者初任者研修 【東京都社会福祉協議会】 災害時の福祉専門職等の連携による要配慮者支援 職員派遣体制確保事業説明会及び感染症対策研修会 【東京都障害者通所活動施設職員研修会】 重症心身障害児者の食事支援について 【国立 のぞみの園】 障害者の福祉的就労と日中活動サービス 	1回 1回 1回 1回 1回 1回 1回 1回 1回	1名 1名 1名 1名 1名 1名 1名 2名 2名 1名

		【東京都福祉保健局】 事業者向け食品表示法講習会	1回	2名
3	自己研鑽支援	資格取得支援制度等の周知 研修情報、参考図書閲覧の利便性向上→図書コーナーの整理。	1回 通年	

8. 地域公益活動の推進(実績)

	実施項目	具体的内容	回数・日付	人数
1	第27回まごめ 幸陽祭の開催	・ 新型コロナウイルス感染症予防対策のため、実行委員と協議の上中止	9/27	
2	地域への設備・ 物品貸出し	・ 物品貸出リストの公開 ・ 貝塚町会への食堂貸出し実施	通年 3回	
3	ボランティア受け入れ強化	・ 日常ボランティア・行事ボランティアの継続受け入れ →新型コロナウイルス感染症予防対策のため受け入れ中止 ・ 中間的就労ボランティア受け入れとして、はたらくサポートとうきょう「はたらく場登録情報」に継続登録しているが利用実績なし。	0回	0名

*1 新型コロナウイルス感染症予防対策のため、イベント参加及びボランティア等受け入れを中止。

9. 地域・関係機関連携(実績)

	実施項目	具体的内容	回数・日付	人数
1	相談支援、地域生活支援、介護事業等との連携強化	・ 高齢化・重度化による多様なニーズへの対応とファミリーサポート（アウトリーチ含む） ・ 関係者会議、ネットワークへの参加		
2	地域との連携強化	・ 地域行事での会場設営協力・出展。 →新型コロナウイルス感染症予防対策のためイベント中止 ・ 貝塚町会回覧物（区報等）の帳合い作業受託 ・ 近隣集合住宅共用部のボランティア清掃	0回 10回 6回	
3	福祉人材受入	社会福祉士 介護等体験 人事院 保育その他	23日 15日 0日 12日	1名 3名 0名 1名
4	広報活動等	広報紙発行 ホームページ更新	2回 6回	

	外販活動（特別ふれんどのみ） 掲示板を活用した地域情報発信	10回 通年	
--	----------------------------------	-----------	--

10、法令遵守に関する取り組み(実績)

	実施項目	具体的取組	回数・日付	人数
1	法令遵守	法令遵守推進に関する関係法令・条例・法人諸規程等に基づき対応 →就業規則・権利擁護規程・職員倫理規程・虐待防止対応要綱等の配布・確認指示や内容によって読み合わせの実施	3回	
2	「働きやすい職場」づくり	「TOKYO 働きやすい福祉の職場宣言」の継続した取り組み推進及び、「働き方改革」に対応した法人の取り組みとの連携		

11、危機管理(実績)

	実施項目	具体的取組	回数・日付	人数
1	事業継続（BCP）	・ 事業継続（BCP）に関する事項の見直し・整備	準備中	
2	防災関連	・ 定期防災訓練 ・ 地域防災訓練→新型コロナウイルス感染症対策のため中止	12回	
3	緊急時対応	「緊急時対応マニュアル」により対応	通年	

* 新型コロナウイルス感染症対策として、三密の回避、来館者の検温、館内消毒、手洗い励行、マスクの着用、清掃、換気の徹底、衛生物品の確保、職員向けの感染症に関する研修、職員及び利用者・保護者に対して注意喚起のリーフレット等配布。

* 緊急事態宣言下では、国・都・区・法人の指針に基づき対応。

12、その他

令和元年度 第三者評価受審結果よりさらなる改善が望まれる点への取組

○特に良いと思われる点

タイトル1	多様なニーズに応えうる体制と実践が、継続的な利用を支えている。
内容	引き続き、多様なニーズを有する方々に必要な支援や活動の機会、場を提供する。
タイトル2	尊厳の尊重・不適切なケアの排除について、根本的な視点で振り返りをしている。
内容	サービス提供ガイドラインをもとに共通認識を確認し、チェックリストによる気づきや振り返りを共有することで継続的な改善につなげていく。
タイトル3	利用者一人ひとりの現状に応じて支援内容を決定している。
内容	本人の希望を踏まえ、より本人の現状に適した支援内容となるよう多角的な視点から検討を行う。

○さらなる改善が望まれる点

タイトル1	利用者一人ひとりが力を発揮しうる環境を維持していく。
内容	生活介護、就労継続支援B型それぞれの事業の目的を踏まえつつ、状態の変化を前提として、無理なく本人のペースで通い続けられるよう環境調整等工夫を重ねていく。
タイトル2	地域との連携・地域への貢献を積み重ねていく。
内容	関係機関との連絡会や協議会などへの参画、地域との防災の連携、備品貸出など、地域との連携・貢献を積み重ねていく。
タイトル3	商品の提供のあり方を検討していく。
内容	自主生産品の生産・販売において、価格設定や商品の見せ方等の工夫により売り上げの向上、工賃の向上を目指す。